

薄さ0.8mmの樹脂！

ガラスを超えるビアグラス

IBUKI Beer glasses
made in Yamagata



<http://ibki-inc.com>

超

これまで培った金型づくりの技術で新たな挑戦
ガラスを**超**える樹脂製のグラスでブランド化を目指す



～場面を選ばずに使えるビアグラス～

普段使いはもちろん、屋外でも安心して使える製品を作りたい。
この想いを実現するために私たちが選んだのが“樹脂製”のグラスです。

ビールの味を損ねる「太陽の光」も、樹脂にUVカットの処理を施すことで克服することに成功しました。

また、底に台座があるため屋外での風にも耐える構造となっております。
これは今流行りのリゾートホテルのプールバーでの使用を想定しました。

監修者である「ものめぐり」北村森さんの実体験をご紹介しますと
せっかくのリゾートでプールに似合わないグラスでサーブされた事がずっと
心に引っかかっていたとの事。そんな時IBUKIにめぐりあいました。

非日常を演出する空間には相応しいグラスが必要です。
世界中のリゾートプールをIBUKIのグラスが席巻する事を夢見て
このビアグラスにはそんな夢が詰まっています。

～美しさと使いやすさのバランスに着目～

今回、樹脂製のビアグラスをつくるにあたり、1人のプロフェッショナルに、まず話を聞きに行きました。
訪ねたのは、東京の新橋と銀座に拠点のある、ビアバーの超実力派店「ビアブルヴァード」の代表、佐藤裕介さんです。

佐藤さんは、ビールの味を決めるのは「ビールそのものが6割だが、
グラスや注ぎ方が4割を占める」とまで力説する、ビール注ぎの名人。
グラスに注ぐ技術は当代一ともいわれ、「サウ注ぎ」との呼び名まで
定着しているほどに、美しくおいしい一杯を創出しています。

そんな名人・佐藤さんが、私たちに大きなヒントをくれました。
まず、グラスのふちは薄く、ただし安心感のある一定の硬さは保つ。
次に、グラスの径はある程度絞る。そのことで、飲む際に感じさせる
豪快さと繊細さを両立する。最後に、杯が進むようにグラスを軽くする。
とはいえ、安定を確保できる程度の重量は確保。



～監修「ものめぐり」北村森の視点～

毎日のように使うには、このガラス製ビアグラスは繊細にすぎる
部分もあるんです。食洗機に入れられないから、どうしても手で
洗う必要があっていつも神経を使っています

(しかも、洗う場面ではほろ酔い加減になっているから、
なおさらあやういわけ……)

今回のIBUKIの取り組みには、その意味で大きな期待を寄せ
たい。本当にガラス製グラスを超える品質を有することができた
ならこれはもう毎日、手に取りたくなるだろうから、です。
飲み終わったら食洗機に突っ込めば、それでいい。
そう考えると、なにも屋外でだけでなく、自宅でも積極的に
使ってみたくなる話です。

『IBUKI』ビアグラス 販売サイト案内

下記URLよりご購入いただけます。是非、ご注文ください。



<https://ibuglass.com>



(株) IBUKI 〒999-3511 山形県西村山郡河北町谷地真木160-2
TEL 0237-72-7121
問い合わせ先 : info@ibuki-mold.co.jp

